

モニタリング結果報告書

施設名 : 県立座間谷戸山公園

指定管理者 : 財団法人神奈川県公園協会

施設所管課(事務所名) : 厚木土木事務所東部センター

(平成22年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月10日	5月17日	月例報告書・現地確認等
5月	6月10日	6月17日	月例報告書・現地確認等
6月	7月9日	7月20日	月例報告書・現地確認等
7月	8月9日	8月19日	月例報告書・現地確認等
8月	9月10日	9月22日	月例報告書・現地確認等
9月	10月12日	10月18日	月例報告書・現地確認等

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る B : 提案どおり C : 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

- ・本公園の特徴である、里山の自然環境を守るため県民や市民団体と協働や連携して調査、保全活動を推進する。
- ・木道等の施設、樹木等の安全のためお点検、清掃、補修等を行い来園者の安全確保に努めるとともに防災・防犯のため、業者、警察、関係機関との連携を図る。
- ・朝礼でのあいさつ唱和や研修を通じて来園者への気持良い対応に努めるとともにアンケート等を通じて利用者ニーズの把握に努める。
- ・利用促進方策として、従来のイベントを継続するとともに里山の自然や文化への探求心を深めるための新たなイベントを実施する。

<実施状況>

- ・月例の運営会議を実施するとともに、市民団体と協働で山野草・ホタル・カエル等の生息調査を実施した。また、里山環境の保全、整備活動を市民団体と共同でほぼ毎月行った。
4月～9月 運営会議 5回 参加者97名
4月～9月 里山保全隊 5回 参加者91名
- ・毎日、朝礼でのあいさつ唱和を行い、よりよい接遇に努めるとともに、アンケートによる利用者満足度調査を9月に実施した。
アンケート等を通じて利用者ニーズの把握に努める。
- ・利用促進方策として、従来のイベントである「米作り隊」「自然観察会」等を継続するとともに新たなイベントとして「やとやま講座」「環境教育指導者養成講座」「生き物観察エリア整備」等について市民団体とともに取り組んだ。
5月～8月 やとやま講座(ホタル観察会等) 4回 参加者98名

3 収支状況

(単位：千円)

	収入額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)		
年間予算額	59,000	59,000		59,000	0
上半期計 (a)	28,017	28,017	0 (0)	25,591	2,426
下半期計 (b)					
4月	3,917	3,917		3,141	776
5月	4,053	4,053		3,987	66
6月	6,048	6,048		4,884	1,164
7月	5,116	5,116		5,394	△ 278
8月	4,040	4,040		4,190	△ 150
9月	4,843	4,843		3,995	848
合計 (a+b)	28,017	28,017	0 (0)	25,591	2,426

- 1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

特になし

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

- 収入の状況: 定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況: 車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況: 積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	204,783人	208,228人	△1.7%
下半期計 (b)			
4月	35,539人	35,644人	△0.3%
5月	36,228人	33,233人	9.0%
6月	37,878人	37,474人	1.1%
7月	30,820人	34,479人	△10.6%
8月	32,383人	33,871人	△4.4%
9月	31,935人	33,527人	△4.7%
合計(a+b)	204,783人	208,228人	△1.7%

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

5 苦情・要望等の状況 (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月						
5月		1	1			2
6月				1	2	3
7月	1				1	2
8月			1			1
9月	1		1			2

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

駐車場の目的外駐車は、掲示や呼びかけ等で指導して状況を見ております。建物内は禁煙だが、屋外の喫煙は禁止していないため、今後は、来園者の意向を踏まえて対応を検討する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> 多目的広場駐車場は目的外の駐車が多い。 カントリーヘッジはないほうがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 掲示等で指導します。 一部の園路沿いにありますが、生き物の住みかとしても必要と考えます。
職員対応	<ul style="list-style-type: none"> スタッフのあいさつがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後もよりよい接客に努めます。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> 公園内を全面禁煙にしてほしい。 	今後の状況を見て県とも相談します。

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

なし

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

事故や不祥事がなかったため、随時モニタリングは該当なし

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> 夏の猛暑で来園者は多少減少し、花壇の花の立ち枯れ、ホタル水路や水田の水不足等の影響が出たものの、総合的には大きな事故や事件もなく概ね良好な管理が出来た。 今後も気象条件の変化や利用者ニーズを把握しながらよりよい管理を行っていきたい。 ログハウスの改修工事が完了し、展示等も一部リニューアルし来園者の利用に供されている。 施設等の経年劣化、樹木の高齢化の進行を把握し対応について、市民団体や土木事務所とも相談していききたい。
施設所管課	<ul style="list-style-type: none"> 来園者は昨年度の上半期と比較すると多少減少しているが、5月及び6月は利用者が増えているため猛暑による影響があったものと思われる。 9月に実施した満足度調査において、来園者の70%の方が満足であるとの印象をもたれている。また、園内の草木、花の状態についても大変良い、良いと印象を持っている方が7割以上を占めており、良好な管理が出来ている。 利用促進方策として新たなイベントにも市民団体とともに積極的に取り組んでおり、多数の方がそのイベントに参加している。 毎月行っている運営会議においても、公園の施設改善や利用促進の工夫、日常管理についての議論を行っており、指定管理業務として良好な管理運営業務に積極的に取り組む姿勢が評価できる。